



10月

集落支援だより vol. 45



日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。柱島群島の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今年も昨年に引き続き、9月17日（土）に柱島自治会と柱島漁協との共催による、島民を中心とした一斉海浜清掃が柱島本島において実施されました。

毎年、島民の皆さんの協力によって、こうした清掃作業が繰り返し行われています。



柱島・浦庄の浜

今後は「柱島公式ラインアカウント」を活用し、島外にお住まいの島出身者、その家族や関係者に向けて、柱島運営局の運営委員から様々な島情報やイベント情報がお伝えできればと思います。

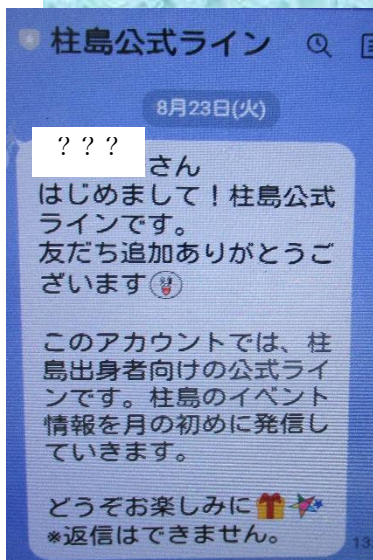
是非、皆さん！ 右のQRコード

【柱島公式ライン】を端末（スマホ等）で読み取っていただき、友達追加してください。

この公式ラインは、柱島からの情報発信を目的としていますが、柱島群島内の島民や、島外に住んでおられる島出身者間での新たな交流や情報交換の推進にも繋がればと思っています。



柱島公式ライン



【成功事例の紹介】

島根県・隠岐の島町の雇用機会拡充



隠岐諸島は島根県の沖、約 50 キロの日本海に浮かぶ大小約 180 からなる島々です。

そのとある島のお店の片隅で販売されていた「塩蔵ワカメ」が、ひょんなことから島根県・本市の食品製造業者の目にとまり、製造・受注の依頼を受けました。

今までお店の一角で人力加工していた海産物が新規事業として納品先からの増産要求に応えることとなり、新たな加工場を建設、正社員 3 名と期間従業者 5 名を雇用することとなりました。

そして隠岐の漁師にとってワカメの収穫が利益につながることで口コミによって広がり、2 人だったワカメ漁師が 10 人に増加、漁業者を増やすとともに収入を増加させる副次的効果も生まれました。

その後も塩蔵ワカメの売り上げは安定し、ワカメが新たな商品となることが島々に伝わり、隠岐諸島の他地域でも塩蔵ワカメの生産が行われるようになりました。

まさに隠岐の島町の他地域を巻き込んだ、新たな「特産品」の創出事例のひとつと言えるでしょう。

【季刊しま No.261 参照】